

若手人材が輝くロボット・ICT人材育成プログラム

連携市町村

南相馬市

現地拠点

南相馬市原町区萱浜字新赤沼83番
 福島ロボットテストフィールド研究棟 研究室5

事業概要

- 浜通り地域等におけるロボット・ICT人材の育成
 南相馬市の高校生等を中心としたロボット技術やプログラミングの技術習得
 福島大学、いわきコンピュータ・カレッジ、福島県ハイテクプラザ、南相馬市内ロボット関連企業等と連携した人材育成
- 浜通り地域等におけるロボット産業振興に関する取組の促進、支援
 WRS2020参加支援や南相馬ロボット産業協議会との連携など地元企業等との協業
 WRS2025への南相馬ロボット産業協議会と会津大学の共同出場に向けた準備と、当該プロセスの人材育成への応用
 福島ロボットテストフィールド(RTF)の活用
- 「復興知」事業での「知」の浜通りにおける横展開の検討と試行
 南相馬市を基点・モデルとした浜通りの復興創生支援
- 浜通りにおける「復興知」事業参加研究・教育機関連携の強化 地域共創分科会、南相馬市分科会幹事校

人材育成目標

- ロボット・ICT技術に関する知識を身につけ、将来的な産業発展に寄与できる若手人材
 - ロボット・ICT技術を高校生等に教育することのできる人材
 - ロボットに関する知識・操作技術を有し、世界大会等で活躍できる人材
- ロボット・ICT教育の開催を年間10回以上 ➡ 受講生の理解度50%以上
 ➤ 参加人数 年間延べ100人以上 ➡ 延べ544人が参加(2023年度)



活動内容

➤ 復興創生ロボット・ICT人材育成(兼講師養成研修)

会津大学、福島大学、いわきコンピュータ・カレッジ
 (参加延べ人数 2023年度36名、2024年度40名)

TA(ティーチング・アシスタント。講師補助学生)としての心構え、必要な知識習得。「教える人材」の育成強化と、浜通りにおける学生間交流の促進。



➤ Pythonプログラミング演習

原町高校(延べ112名参加)※2023年度実績。以下同じ
 相馬農業高校・小高産業技術高校ほか(延べ32名参加)
 相馬高校(137名参加)
 相馬総合高校(延べ26名参加)

本プログラムの中で受講者数が最多。2023年度からは活動領域を広げて、相馬市内の2高校でも実施している。(横展開)



➤ 若手人材ロボット技術演習

小高産業技術高校、テクノアカデミー浜(延べ107名参加)

ハードウェアとソフトウェアが融合した分野: Dual-ware(デュアルウェア)エンジニアの育成を目指す、8日間にわたるロボット技術教育。
 県ハイテクプラザ、南相馬ロボ協と連携して企画・実施。



➤ ロボットシミュレータ Choreonoid 研修

会津大学、福島大学、東北大学(延べ54名参加)

今後のロボット研究でますます必要かつ重要となるシミュレーション技術のより高度な習得を目的に、ロボットシミュレータ「コレオノイド」開発者の中岡慎一郎氏を講師に迎えて実施。



➤ 高校生課題研究活動支援

高校生クラブ活動支援(原町高校数科学部で2回実施)
 小高産業技術高校ロボットグループワーク支援(6回実施)
 原町高校授業科目「総合的な探究の時間」での助言指導(福島大学復興知事業との連携により3回実施)

